

団体名		公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター			
① 事業	指標名	会員数及び会員就業率		目標値	会員数1,210人、就業率82%
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: 人、%)	1,152、79.8	1,135、81.8	1,162、79.8	当該年度最終日の会員数、当該年度就業率
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目	(1) 経営健全性の確保			
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 シルバー人材センターでは、平成30年度に「第四期中期目標(2018~2022年度)」を策定し、3大目標の一つとして「会員の増強」掲げた。この中期目標のなかで期別目標として、令和元年度は会員数1,210人、就業率82%を目標値として定めており、これを本経営目標の目標値とした。			
② 財務	指標名	事業契約額(請負・委任事業、派遣事業等)		目標値	410,000千円
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: 千円)	376,677	383,930	407,869	平成28年度より派遣事業を開始
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目	(1) 経営健全性の確保			
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 シルバー人材センターでは、平成30年度に「第四期中期目標(2018~2022年度)」を策定し、3大目標の一つとして「魅力あるセンターづくり」「就業先拡大」を掲げた。これらを達成するために、中期計画では令和元年度は、請負・委任395,000千円、派遣9,000千円(計404,000千円)を数値目標としている。しかし、平成30年度に派遣契約額が目標値を上回ったため、令和元年度の事業計画では目標を410,000千円としており、これを財務の経営目標とした。			
③ 内部管理	指標名	組織強化と人材育成		目標値	事務局体制の改善
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	(過去の実績についての説明)
	(単位:)				新たな目標のため過去の実績なし
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目	(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の見直し (6) 組織・職員数等の適正化			
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 現在団体の正職員は5名であるが、年齢構成、経験年数が極めてアンバランスとなっている。組織維持の観点から、中長期を見据えた計画的な採用と職員の育成が喫緊の課題である。また、長年ジョブローテーションが行われていないこと、総務部門の職員が少ないことなどから、コンプライアンスの徹底を含め総務部門を強化し、1,200人の会員を支えられる強い組織を作っていく必要がある。			
④ 内部管理	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①職員に欠員に合わせて、年齢や経験を考慮した計画的な採用を行う。 ②研修計画を策定し、計画的な人材育成を行う。 ③総務部門の業務を整理し、業務分担を明確にする。 ④各業務のマニュアルを整備し、異動や退職等による業務変更にも対応できる体制の構築を図るとともに、ジョブローテーションを実施する。 ⑤規程の見直しを行いコンプライアンスを徹底する。 ⑥働き方改革法の施行に伴い、就業ルールなどを見直し、適切な運用を行う。			